

# 2017年度 自己点検・評価【国際学研究科】

C票

## <目標、行動計画>進捗確認シート

提出日:2018年2月22日

### 2021年度に向けた教育研究目標

責任者	国際学研究科委員長	作成部局	国際学研究科
-----	-----------	------	--------

#### 【A票:教育研究目標1】

(タイトル)  
国際学研究科の継続的発展

(狙い内容)  
前期課程において毎年度安定した数の入学者を受け修了者を輩出し、グローバルに活動する企業または国際機関に高度専門職として就職させる。

#### 1. 教育研究目標を実現する上での2021年度のめざす姿(目標)

前期課程は毎年度安定した数の学生が入学し、できるだけ2年間で修了する。

#### 2. 達成度評価

評価指標	毎年度の前期課程入学者と修了者の数	評価尺度	A:6名以上の入学者と修了者 B:3名以上の入学者と修了者 C:1名以上の入学者と修了者 D:入学者と修了者がゼロ
	<変更時記入欄>		<変更時記入欄> A:入学者と修了者が各6名以上 B:入学者と修了者が各3名以上 C:入学者と修了者が各1名以上 D:入学者と修了者のいずれかが0名

#### 3. 年度毎の目標値

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
2016年度 自己点検・評価時 点		C 入学者2名 修了者2名	C 入学者2名 修了者2名	C 入学者4名 修了者2名	B 入学者4名 修了者4名	B 入学者6名 修了者4名	A 入学者6名 修了者6名	A 入学者6名 修了者6名
2017年度 進捗状況 & 今後の 目標値	評価 尺度: A~D	C	C	C				
	見込・ 実績・ 目標 (値又は 状況)	入学者2名 修了者2名	入学者2名 修了者2名	見込み 入学者1名 修了者2名				

#### 【2017年度の進捗状況について】

指摘をふまえ、評価尺度を修正した。  
評価尺度としては想定どおり(C)であるが、入学者が目標を下回っているため、対策を検討しているところである。

<変更理由記入欄:評価指標、評価尺度、年度毎の目標値が変更有の場合>

指摘をふまえ、評価尺度を修正した。

### 2017年度の取組み状況の確認

2017年度の取組みは、当初の目標どおりに進んでいるか？

→ はい・いいえ

#### <評価専門委員・第三者評価結果> 2017年12月22日公示

- ・ 修了後の実態・就職先などについても指標を設定して評価することが期待されます。(A)
- ・ 学問領域の性質上、より専門性を高めようとする大学院生の確保は容易ではないことは十分に理解でき、この意味では努力の跡が伺えます。(B)
- ・ 概ね順調に進展しています。
- ・ 教育研究目標1の貴科の「継続的発展」に用いられた入学者や修了者数といった評価尺度は、いわば量的な面からの評価尺度なので、別途質的な面からの評価尺度や行動計画の追加が期待されます。(C)
- ・ 目標に取り上げられているグローバル企業への就職について記述が求められます。(D)
- ・ 前期課程の入学者と修了者のさらなる確保が期待されます。(E)
- ・ 適切に見直しを実施されています。(F)
- ・ 大学院の定員充足の問題は全学的な課題ですが、広報活動など様々な取組みを引き続き進めていただくことを期待します。(G)

**【A票:教育研究目標2】**

(タイトル)

国際的課題に取り組む研究者の育成

(狙い内容)

前期課程修了者で海外の博士課程に進学した学生、または本研究科後期課程修了者の中から大学・研究機関・行政機関・企業で調査研究職として活躍する人材を輩出する。

**1. 教育研究目標を実現する上での2021年度のめざす姿(目標)**

後期課程からも学位取得者(または前期課程修了後に海外の博士課程に進学して修了したもの)を輩出し、大学・研究機関・行政機関・企業において調査研究職に就かせる。

**2. 達成度評価**

<b>評価指標</b>	毎年度の後期課程入学者と修了者の数	<b>評価尺度</b>	A : 後期課程修了者が調査研究職として就職した。 B : 後期課程修了者は出たが研究者として就職しなかった。 C : 後期課程修了者が出なかった。 D : 後期課程在籍者がいなかった。
-------------	-------------------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

**3. 年度毎の目標値**

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
2016年度 自己点検・評価時点		C 在籍者D1に1名のみ	C 在籍者 D1、D2 各1名	B 入学者1名 修了者1名	B 入学者1名 修了者1名	B 入学者2名 修了者1名	B 入学者2名 修了者1名	A 入学者2名 修了者2名 (後期課程修了者から調査研究職への就職者を輩出する)
2017年度 進捗状況 & 今後の 目標値	評価 尺度: A~D	C	C	見込み	B			
	見込 実績・ 目標 (値又は 状況)	在籍者 D1に1名のみ	在籍者 D1、D2 各1名	見込み 在籍者 D1、D2、D3 各1名				

**【2017年度の進捗状況について】**

年度ごとの目標値に沿って進んでいる。

**2017年度の取組み状況の確認**

2017年度の取組みは、当初の目標どおりに進んでいるか？

→ はい・いいえ

**<評価専門委員・第三者評価結果> 2017年12月22日公示**

- ・進学者が少ないことに対する施策・行動計画は必要ないでしょうか。(A)
- ・学問領域の性質上、より専門性を高めようとする博士後期課程の学生の確保は容易ではないことは理解でき、この意味では努力が伺えます。(B)
- ・順調に進展していますが、さらなる研究者養成の増加が期待されます。(C)
- ・後期課程の入学者と修了者数は順調に推移しています。(E)
- ・後期課程の活性化は特に難しい問題ですが、引き続き取組みを進めていただくことを期待します。(G)